

## 活動報告

### 災害フォーラム「地震と台風・竜巻、どっちが怖い—どこが違う、建物の備え」

災害委員会委員（九州支部担当）

前田潤滋（九州大学）

2005年の福岡県西方沖地震による建物被害の経験だけでなく、台風や竜巻による建物被害が頻発している最近の気候状況から、九州では地震と台風・竜巻による被害双方の実状と対策に関する市民フォーラム開催の要望が多く、2008年には佐賀で、2009年には熊本でそれぞれ開催した地震と強風による被害の実情と対策を解説するフォーラムには多くの一般市民や自治体職員が参加し、同様のフォーラムをさまざまな地域で繰り返し開催して欲しいとの要望が寄せられた。今年度は、日向灘や別府—島原地溝帯付近で頻発する地震を経験するとともに、九州に上陸する台風による風水害や竜巻被害を経験している大分地域で開催した。この地域は自治防災組織の組織率が非常に高く、地元自治体の防災意識高揚への取り組みも積極的である。地域の総合防災力向上の一助となることを目的に、これまでも使用している上記の表題で市民向けフォーラムを開催した。

大分県と大分市の協力を得て、2010年10月15日に大分文化会館第一小ホールで開催したフォーラムには93名が参加した。フォーラムは開催の経緯と趣旨説明の後、地震と強風による建物の被害の特徴と対策、自治体の災害対策の比較、および大分県の防災施策についての5題の講演が行われ、最後に会場との意見交換を行った。防災のための具体的な対策や避難方法などを知りたかったとの意見があった他、強風被害の話が聴けて良かった、耐震補強の必要性が理解できたなどの意見が寄せられた。

終了後、参加者へのアンケート（有効回答数69票）を実施したところ、図のような結果となった。



開会挨拶



講演の様子



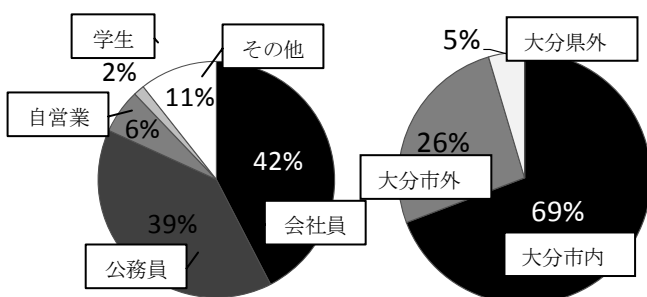
講演の様子



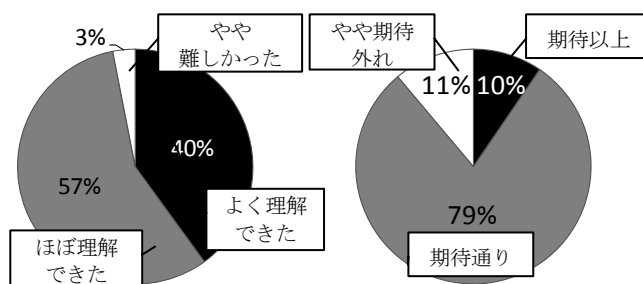
講演の様子



会場との意見交換



参加者の職業と居住地



内容の理解度

内容への満足度